別紙３－３

< 運営推進会議における評価_様式例 >　※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団　　松涛会	事業所名	看護小規模多機能　ケアタウンやすおか
所在地	（〒759－6640） 山口県下関市横野町 3 丁目 1-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当法人の病院を中心として、他機関と連携強化を図り、医療・看護・介護・福祉が一体となり、医療ニーズがある重度の方を地域で支えることで、利用者・家族の安心感に繋げている。 医療ケアが必要であっても介護職がしっかり生活を支え、看護職が健康面と医療的サポートをすることで、在宅生活の可能性を広げ、住み慣れた暮らしのあり方や尊厳を保つケアの取り組みを行っている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価実施日	西暦 2021 年 01 月 20 日	従業者等自己評価実施人数	（ 22 ）人　　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】）

実施日	西暦 2021 年 03 月 17 日	出席人数（合計）	（ 11 ）人　　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（ 4 人）□市町村職員（ 1 人）□地域包括支援センター職員（ 1 人）□地域住民の代表者（3 人） □利用者（ 1 人））□利用者の家族（1 人）　□知見を有する者（　　人）　□その他（　　人）		

■ 前回の改善計画の進捗評

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）				
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）			
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）			
	３.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）			
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）				

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		・独自の理念等は理解できているが、実践できているかはバラツキがあり原因を明確にする必要がある。 ・人材育成に関して、育成計画や研修の確保はできているが、到達できていないことについての検討が必要。	・看護小規模の特徴や機能へのニーズを職員間で明確にしていく。具体的には理念に付け加え、基本指標を策定し職員へ周知する。 ・外部講師による勉強会でレベルアップを図る。 ・事例検討やカンファレンスを適宜行い職員全員の専門的技術・知識の向上に繋げる。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	・出来ているところは、引き続き取り組みを行いさらなる飛躍を期待する。 ・医療面でのケアが必要である為、状況変化の予測やリスク管理等は、大変なことも多いが、自立支援を目指した看護・介護計画作成に取り組んでもらいたい。	・包括的なサービスの提供が協働して行えるように状況変化に応じて関係各所との連携を図り迅速な対応ができるよう取り組む。 ・法人の感染部署担当者会議への参加を行っていき感染対策やリスク管理の体制を強化していく。
	２．多機関・多職種との連携 （評価項目 28～31）	・コロナウイルスの為、運営推進会議の開催自体が少なかったが、地域住民の方が多く参加し情報交換が行われている。 ・医療機関との連携が非常に良く取れている。	・コロナウイルス感染対策として、運営推進会議が中止となった場合、書面会議の開催に変えさせていただき書面で報告を行い意見等、頂き運営に反映していく。 ・今後も主治医・看護師・関係各所と密に連携を図り状態の変動に合わせたサービスを検討・実践していく。 ・リスク管理・衛生管理・緊急時の対応・介護との協働等の看護師会議を月 1 回行っていく。

	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・地域包括システムの構築方針や計画の内容等について第８期介護保険事業計画の当該項目の確認を行ってみてください。地域包括システムについて、全職員で研修し、内容等の理解を高めていくことが大事です。	・医療ニーズの高い利用者の受け入れが出来る様、介護職でのたん吸引が出来る様に研修受講を進めていく。 ・地域包括システムの中核的サービスとしての看護・介護の役割について、事業所内研修の年間計画に組み込み知識を高める。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・看取り希望者が会った場合に、利用者が安心感を得られる対応ができるよう体制を整えていってください。	・ご家族の安心感に繋げられるよう、看護・介護の連携と学びあいによる成長ができるように一緒にケアを提供しプランの計画目標に向けて職員全員で看護小規模の機能の充実を図っていく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		16	6		②現在、看取り希望者はいないとのことであるが、希望があった場合に備えて体制を整えていただきたい。 ・多様なニーズに対応されていると思う。 ・独自の理念は浸透しています。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
			[具体的な状況・取組内容] ①③④⑤ 医療や生活支援・家族支援も含めた多様なニーズに柔軟に対応し複合機能の構成を包括的に結び付けること努めている。 ②癌末期・看取り利用者を受け入れる理念はあるが、現在看取りの希望の利用者もなく体制も未確定である。				
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	14	5	2	**・職員が事業所の理念を理解が出来る様明確化されている。**	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
			[具体的な状況・取組内容] **事業所独自の理念を掲げ日常生活の場で療養生活を支援し安全・安心・健康を確保出来る様理解し実践している。**				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	9	8	3	今後も面談を行い話し合いを行ってください。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] キヤリアパスが明確になっていることで目標管理シートを作成し計画を立案し育成目標に到達出来る様に面談や話し合いを行っている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	8	7	5	・コロナ感染予防の為、外部研修に参加する機会が少ないと思うが、今後も参加出来る様、研修機会の確保をしていただきたい。 ・月 1 回の勉強会には職員全員が参加出来る様継続してください。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 外部研修は職員に情報を伝え段階に応じて勤務の一環として、参加を提供している。内外研修に加え個々の自己研鑽を行い月 1 回の勉強会を年間計画に基づいて行っている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	2	13	7		・職員が相互に情報を共有する機会を工夫されている。 ・情報共有する機会は確保されています。大事なことですので、更に確保の精度があがることを期待します。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・毎日の朝礼にて日々の生活の様子や体調変化を伝え日報・伝達ノート等でも情報の共有を行っている。 ・毎月の全体ミーティングやカンファレンスを行い支援の方向性を共有できている。 ・医療機関のカンファレンスに参加し情報を伝達し参加ができないスタッフへはカンファレンスシートの内覧を行っている。					
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	6	10	5	・今年度はコロナの影響で運営推進会議の開催自体がすくなかったが、引き続き意見収集に努めてもらいたい。 ・「地域住民のメンバー」である私達が、的確な助言等をしていたかが問題ですが、意見	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議にて意見を聞き積極的に事業所としての環境や支援方法を整えサービスまた、事業所の取り組みを報告し運営の参考とさせて頂いている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
						等の反映が少ないように思います。	
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	10	9	1	・メンター制度を取り入れているとのことで、とても良い取り組みであると思う。 ・安心して働ける就業環境が整備されていると思う。 ・環境は整っているが、半数近くは実感できていないように感じる。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・就業規則に基づき環境が整っている。 ・メンター制度にて、教育委員会への会議の参加を行い不安を減らす仕組み作りができている。					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	13	8		・利用者の情報共有するため様々な工夫ができていると思う。 ・更に向上できることを期待する。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・情報共有シートを作成しケア内容を迅速に共有出来る様にしており、変更時には、伝達ノートを利用し共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		・情報提供が利用開始直前であったり、情報が少ない場合もあり、情報が不十分であることもある。					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	16	5		建物が国道に面しているので、離設等には特に注意していただきたい。 ・安全管理は具体的に対策ができているようであると感じた。 ・安全管理は大事なことであります。よくできていると思います。更に向上を期待します。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・インシデント・アクシデント報告の記録を作成し再発防止に向けて情報共有・対策の検討会疑義を行っている。 ・送迎マニュアルを作成し送迎時に車両確認を行い乗務している。 ・夜間のセキュリティーをかける事により安全確保ができている。 ・個人情報は取り扱いに注意し守秘義務を尊重している。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において		14	7	1	・事業所だけではなく法人で	✓ 「緊急時におけるサービス提供

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	も、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	[具体的な状況・取組内容] ・年2回の防災訓練を実施し事業所だけではなく施設全体での取り組みを行っている。 ・法人にて災害時の非常電源・水分・食料確保をしており対応方針もできている。 ・マニュアル化・緊急時連絡網の作成もしているがマニュアルの更新が必要である。				も緊急時の体制ができている。 ・どんな時でも、サービス提供が継続できることは難しいことですが、大切なことです。コロナ渦、細心の注意を払って対応方針を共有することが、是非とも必要です。	のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		10	10	2	・職員全員がアセスメントができるように取り組んでください。 ・新設の看護小規模多機能居宅介護事業所の特徴あるサービスの充足度は注目に値	✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメ
		[具体的な状況・取組内容] 本人・家族から生活歴や暮らし方・生活環境等の聞き取りを行う事で、必要なサービスの見極めを行い訪問や送迎時、悩みや訴えを傾聴する事で、不安な事を理解しアセスメントを行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
						します。これからもさらなる飛躍を期待します。	ントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	12	8	1	・情報の共有はできているように思います。 ・当施設にとって、介護職・看護職によって得られた結果を共有し生かしていくことは、まさに大切なことであり、施設誕生の意味があると思います。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の状態を適切に見極めることが出来る様、アセスメントの結果を共有しているが、包括的なアセスメントを行う意識付けができていない。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その	3	14	5			✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	目標の達成に向けた計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容] **月 1 回のモニタリングにて、満足度を評価し状態や要望の変化に応じた現状に即した計画を作成することで、目標に向けて支援している。**				利用者だけでなくご家族にも目を向け把握することが大切だと思う。 ・在宅介護・看護を考えた時、本案充足度は良く行われています。さらなる飛躍を期待します。	利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	17	3	1	できていると自己評価が多くあるので、引き続き自立支援を目指した計画作成に取り組んで欲しい。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の生活状況・行動や機能を観察し状態に応じ本人に沿った自立支援を目指す計画が作成されている。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の						✓ 「状況変化の予測」と「リスク管

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	13	6	2	・医療面でケアの必要な利用者が多いと思う。状況変化の予測やリスク管理等を踏まえた看護計画の立案に取り組んで欲しい。 ・良くできていると感じる。	理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 主治医から、意見を聞き取りリスクの要因を把握し分析した上で看護計画を立案している。					
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	11	10		・常時、利用者の状態を観察し対応を行っていることなので、随時適切に計画の見直しを行って頂きたい。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・看護・介護両方の視点から観察し状態の変化にタイムリーに対応している。 ・アセスメントから、PDCA サイクルのプロセスを繰り返してはいるが、計画への変更までは至っていない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		5	14	3	・訪問することで、自宅での生活を把握することは大切です。 ・施設の人的制限等の関係で、最もサービスがしずらいところではないかと考える。生活状況の変化の継続的把握は難しい面があると感じる。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] 本人の状況に応じ「通所」「訪問」の利用日の変更や急な「泊まり」送迎時間の拡張等、柔軟なサービスに対応出来る様に多様化に取り組み、ニーズに即した支援を意識して、調整を行っている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含	2	9	10	1		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」につい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	む関係多職種と情報が共有されている	[具体的な状況・取組内容] 看護職を中心に利用者の状況の変化時は医師と情報共有ができ、相談できる体制ができている。 事業者内外の他職種との連携は不十分だと感じている。				・医師と事業所が情報共有できているということは、利用者の安心にも繋がっていると思う。	て、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	14	6		・看護小規模運営の取り組み事例のない中、包括的なサービスの提供に向けて様々な取り組みが行われていると感じている。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 介護職と看護職のお互いが専門性や役割を尊重しあう姿勢は感じるが柔軟な分担ではなく一緒にケアを提供する包括的なサービスの難しさを感じ協働が課題である。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が	2	16	4			✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	行われている	看護行為の一連を看護業務としているので、看護職員の業務が多忙している。				・看護師等が行うべき業務以外について、事業所内で分担し改善に努めていただきたい。 ・業務多忙の中でも連携は必要だと思います。	
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	17	2	1	・できていると自己評価が多いことから、引き続き取り組んでもらいたい。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・看護師からのケースの情報提供や提案は日常業務の中で必要に応じて行っている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12	9		・他の施設でもいえるが、「利用者の理解」を得ることは大変重要ですが、難しいことでもあると思う。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・個々に合わせサービスの内容の趣旨の説明を行い理解していただいている。 ・入所前の見学や面談時にサービスの特徴を説明しており、契約時には重要事項説明書にて再度詳しく説明し理解していただいたことで同意を得ている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	13	6	2	在宅での生活が安心して送れるようにお願いしたい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 在宅での療養生活が継続出来る様、状態や要望の変化に応じ現状に即した計画をその都度見直しを行い目標に向けて支援している事を説明し理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	17	2	3		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 医療処置や医療機器の取り扱い方法については、看護師が対応している 介護職からも利用者や家族から質問があれば対応し面会時等で情報提供を行うこともしている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1	16	3	2	・本人・家族の思いを把握し受け止めでください。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 本人・家族の意向を把握する事で、本来の能力を生かし思いや希望を受け止めそれを叶える方法を考える自己実現に向けた取り組みを行っている。但し、医療面が大きく影響するときは医師によるインフォームドコンセントに頼っていることもある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	9	10	2	今後も事例を積むことで良い結果に繋がっていくものと思われる。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 現状の判断・原因の予測・予測される症状の変化について、早期治療に繋げられるよう、適宜家族に報告し相談した上で対応を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		**2**	**10**	**10**		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・医師から直接説明をしてもらっている。 ・説明した内容や意向等は支援経過記録に残している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く できて いない		
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	2	14	3	3	・医療機関との連携が非常に良く取れていると思う。 ・引き続き職員間の情報共有を行っていってください。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 入院時情報提供で情報を共有した上で退院カンファレンスに看護師・ケアマネは参加し状態を把握する様努め後日、サマリーでも情報共有も行っている。 ・看護師を中心に医療関係職との連会が的確に速やかに取れ職員間で共有する様努めている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	**1**	**17**	**3**	**1**	・緊急時の対応方針について、情報共有ができているようです。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ［具体的な状況・取組内容］ ・利用者ファイルに緊急時の連絡先をファイリングしすぐに対応できるようにしている。 ・緊急には、主治医への相談・共有・指					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		示をもらっている。 ・医師より、訪問介護指示書を受け看護計画にて実践している。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	3	15	3	2		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医の連絡先を一覧出来る様、記載している。 ・24 時間オンコール対応にて連絡体制は整っている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	9	6	6	・運営推進会議の開催自体少ないが、地域住民の方が多く参加し情報交換が行われていると思う。 ・運営推進会議委員に色々な情報を発信していることは分るが、発信される側が正確	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や
		[具体的な状況・取組内容] 2 ヶ月 1 度　運営推進会議を開催し構成員との情報交換を行い地域密着サービスの役割を持った会議の開催に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
						に理解できているのか疑問に思っている。	町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	11	3	5	議事録をホームページにアップして、誰でも内覧できる状態にすることはとても良いことだと思う。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・議事録を玄関に掲示しだれでも見られる状況になっており、ホームページにもアップしている。 全職員への内覧も実施できている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	8	6	7	・地域住民に向け積極的な啓発活動を行っても住民に見てもらえない「もどかしさ」はどんな場面でも存在するが、何か有効な手段がないのか一緒に考えて行けたら良いと感じている。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] コロナウイルス渦の為、地域との協働した取り組みや活動ができていないが、ホームページでの情報発信や広報誌の発行は行っている。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		3	5	12		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場
		[具体的な状況・取組内容] 「指定なし」					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	9	6	6		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・現在、看護師の他、介護福祉士喀痰吸引講習修了スタッフがいない状況で受け入れは積極的には行えていない。 ・介護職での痰吸引が出来る様に研修受講を進めていく。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れるこ				22		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よくできている</th><th>おおよそできている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td></td><td>とができる体制が整っており、積極的に受け入れている</td><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

受け入れる体制が整っていない。</td><td>・今後の検討をおねがいします。</td><td>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td rowspan="2">37</td><td rowspan="2">○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている</td><td></td><td></td><td>7</td><td>15</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください
✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」
✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

<u>「</u>看取り支援」を必要する要介護者を受け入れる体制がまだ整っていない。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		2	11	9	・今年度末に発出される第8期介護保険事業計画の当該項目を確認すると良いと思う。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 地域包括システムの構築に向け事業所が担う役割や地域に密着した繋がりを大切に地域包括システムの内容について、職員一人ひとりの理解度が不十分で格差もある。					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		4	5	13		✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくこと
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
		・受け入れ相談時に実施地域を確認し対応している。 ・特定の集合住宅等を対象としてはないが、医療型の有料老人ホームが併設していることで、住宅への入所希望のニーズが多くなっているが、地域へのサービス提供へも積極的に取り組んでいる。				・併設建物居住の利用者が多いと思うが、在宅の利用者へも引き続き情報を発信し、サービスの利用に繋げていただきたい。	が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		2	4	16		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議を通じて、情報や意見を頂き協力の依頼や提案等の取り組みを行っているが、地域において事業所が担う役割が確立・周知されていない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		1	12	9	・地域住民や家族との関係は大切です。関係作りに努めてください。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 家族や近隣住民との関係性を深めることが出来る様、専門職としての知識を生かし支援方法のアドバイスを行えるように取り組んでいきたい。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない **[具体的な状況・取組内容]** ケアプランの短期目標をモニタリングで評価し毎月カンファレンスを行うことで、目標達成に近づくことができるよう支援を行っている。	・引き続き、目標達成できるように支援をお願いします。	✓「計画目標の達成」について、評価します。
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	[具体的な状況・取組内容] **利用者・家族の複雑なニーズに対応し地域資源を活用しながら、暮らしを尊重して、看護・介護サービスを提供し安心感が得られる様心がけている。**	・在宅での安心感が得られるようにお願いしたい。	ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない (５．) 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 法人が病院であることで即時対応ができる事で、在宅看取り希望の方がいないが、家族の意向や他職種との連携を深め安心感が得られるよう努めていきたい。	・看取り希望者があった場合に利用者が安心感を得られる対応ができるように体制を整えて頂きたい。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」